

# 2015 RIKUZENTAKATA PROJECT

スタッフと大学生協働プロジェクト  
使用基本言語：英語

募集締切  
5月16日 12:30

## 2015陸前高田プロジェクト

—米国大学生との協働による震災復興に関する課題基盤型学習—

主催	立教大学グローバル教育センター(マキムホール2F)	
事前研修	5月30日(土) 6月13日(土), 8月29日(土) 9月5日(土), 9月6日(日)	立教学生のみ TV会議にてスタッフと大学生協働 東京にてスタッフと大学生協働
現地研修	9月7日(月)~11日(金)	岩手県陸前高田市
事後研修	9月12日(土), 9月26日(土) 東京(池袋キャンパス)	
お問合せ	TEL: 03-3985-4613 Email: cghrd-info@rikkyo.ac.jp	
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・全学共通カリキュラム総合自由科目 2単位 (2011年度以前1年次入学者及び2013年度以前3年次編入学者は参加できません、単位は付与されません)</li><li>・2015年度在学者のみ対象</li><li>・詳細は全学共通カリキュラム 履修要項112~114頁・講義内容435頁 参照</li></ul>	

**2015 年度陸前高田プロジェクト**  
**—米国大学生との協働による震災復興に関する課題基盤型学習—**

**I. 募集概要**

- (1) 募集対象 本学の所属学生、大学院生及び留学生
- (2) 募集人数 15 人程度
- (3) 応募資格 以下のすべてを満たす者
- 2015 年度春学期及び秋学期とも在学であること
  - 英語によるコミュニケーション能力を有する者
  - プログラムの全日程に参加可能な者
- (4) 申請方法 申請書及び成績参照システム画面の写しを以下のいずれかの事務室に提出してください。申請書はグローバル教育センターホームページからダウンロードしてください
- 池袋キャンパス グローバル教育センター（マキムホール2階）  
新座キャンパス 国際センター
- (5) 応募締切 2015 年 5 月 16 日（土）12:30 【時間厳守】
- (6) 選考方法 書面審査及び英語による面接審査
- (7) 面接日 2015 年 5 月 18 日（月）または 19 日（火）
- (8) 結果発表 2015 年 5 月 20 日（水） ※ メールにて応募者全員に通知します
- (9) 参加費 5.5 万円  
(含：往復交通費、現地交通費、宿泊費、一部食費、保険加入経費)  
※ 昼食代は含まれていません

**II. 履修登録**

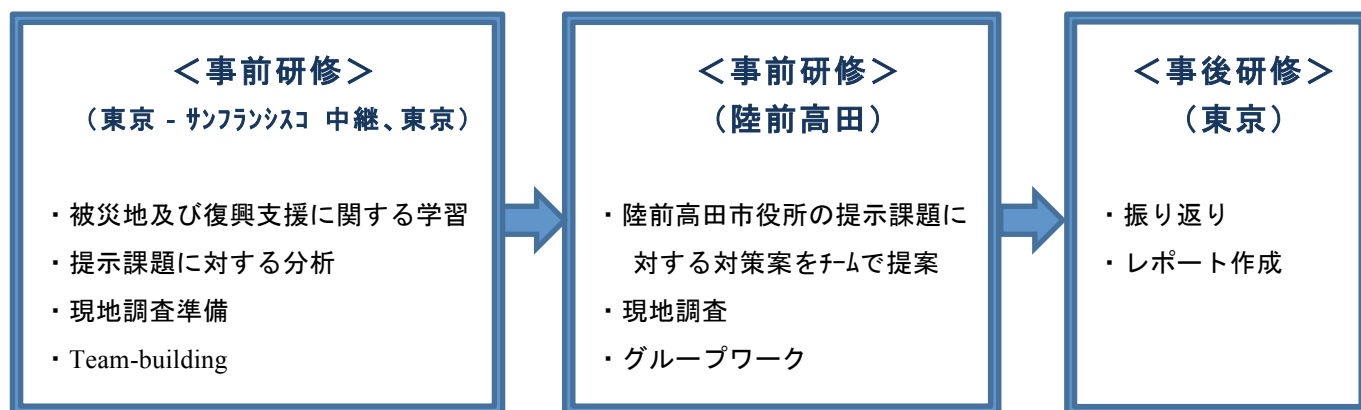
2012 年度以降 1 年次入学者及び 2014 年度以降 3 年次編入学者は、履修登録されま  
す（参加者による履修登録申請は不要です）。

2011 年度以前 1 年次入学者及び 2013 年度以前 3 年次編入学者は、正課外プログラ  
ムとして参加することができますが、単位付与はされません。

履修登録及び試験、成績評価方法・基  
準等については、「2015 年度全学共通カリ  
キュラム履修要項」の 112～114 頁及び  
「2015 年度全学共通カリキュラム講義内  
容」435 頁を参照してください。

### Ⅲ. プログラム概要

岩手県陸前高田市では、震災後4年を経過した現在も、被災した方々の生活はまだ復興には遠い状況にあります。こうした中で、陸前高田市を始めとする東日本大震災の被災地では、震災体験の風化を心配する声があり、もっと多くの人に被災地の現状を知ってほしいという要望も高まっています。そこで本学では、海外からの留学生及び在学中の学生、さらに海外の大学に在学する学生を対象に、震災前から長年交流のある岩手県陸前高田市への課題基盤型学習プログラムを計画し、被災地の現状を広く学生に知ってもらい、復興における課題を共有していきたいと考えています。被災地の「いま」について学ぶことで、我々が今後どのように震災後の復興について考えるべきか、復興に関する課題にどのような対応策が考えられるのかを現地復興支援団体の方々や地域の方々との意見交換できる場にできるように本プログラムを実施するものです。



#### QLEARN

被災地の今を知る  
課題を共有する

#### DIVERSITY

多様な学部・研究科の学生対象プログラムです  
米国スタンフォード大学生7名との協働プログラムです

#### ENGLISH

英語「で」学習する  
言葉で橋渡しをする

#### PROJECT-BASED LEARNING

現実にある課題に対する対策提案力を身につける

#### COMMUNICATION & LEADERSHIP

多様な学生との協働作業を通じて、  
コミュニケーション力やリーダーシップ力を身につける